

## 授業科目等の概要

令和6年度（服飾専門課程ファッションデザイン専攻科2年）															
分類		種別	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○	-	総論	服飾造形論Ⅱ	プロダクト全般に関する仕事を理解して、製造工程・縫製方法に関する知識、縫製機器の取り扱い、服飾付属品関連知識、素材の種類や生地の特性に対応した裁断・芯貼り・縫製、また、補正に関する知識・技術を習得する。	2前後	30	-	○	△	△	○	○	○	○	
○	-		アパレル素材Ⅱ	アパレル素材の中で、主にテキスタイル染色における基礎知識の理解を目的とする。代表的な衣料用素材に対し市販の材料を使って実際に染色を行う。様々な染料や助剤を使用し、染色技法を試すことで知識・技術を習得する。ファッション衣料としてのテキスタイルの総合理解を深める。	2前	15	-	△	○	○	○	○	○	○	
○	-	デザイン	服飾デザインⅡ	株式会社ハードの商品企画やスーツの製品企画を行う。就職活動で自身が着用するスーツの企画書を作成する。また自身のイメージをどう表現していくか探究し、クリエイションショーに向けてデザインを考え、ポートフォリオを作成する。デザインをすることに重点を置き、幅広い柔軟なアイデア発想を強化する。	2前後	105	-	△	△	○	○	○	○	○	
○	-		ドローイングⅡ	イメージしたデザインを視覚的に表現することを目的とし、一年次に学んだ基本的なテクニックを踏まえて様々な画材での着彩方法を学ぶ。学生の感性を磨く為に、各種コンテストへの応募・入選を目標とする。※コンテスト作品への対応を行う為、前後期イレギュラーな回数で行うが、通年で換算することとする。	2前後	60	-	△	△	○	○	○	○	○	
○	-	パソコン	グラフィックⅡ	Adobe Illustratorの基本操作を前期で習得する。また、画像をスキャンしAdobe Photoshopの復習も兼ねる。スーツを写真撮影しデータ化する。また、株式会社ハードの職業実践で制作した商品の営業台帳・ロゴを制作する。服飾デザインと連動し、データ化した際に魅力的になる資料作りを目指す。	2前後	60	-	△	○	○	○	○	○	○	
○	-		アパレルCADⅠ	東レクレアコンポのソフトを使用しアパレルCADの基本操作の講義。主に原型操作・スカートのデザイン展開をしながらパターンマジックのメニューの基本操作を習得する。後期からは前期で習得したメニューを使用して、自ら企画したSKの作図をする。又それに準じた、マーキング・工程分析書・縫製仕様書を作成し工場に送り出す前の作業の流れを把握する。	2前後	60	-	△	○	△	○	○	○	○	
○	-	服飾造形	パターンメイキングⅡ	人体の構造、体形を理解して、服種別・シルエット各種のパターンメイキングを習得する。また素材に応じて、ゆとりや厚み分量を考慮したパターン展開法を身に付け、生産に向けた量産パターン（縫い代付け、合印、グレーディング）の知識・技術を習得する。	2前後	405	-	○	△	△	○	○	○	○	
○	-		ドレーピングⅡ	ドレーピングに関する基本的な知識・技術を理解し、身体の構造を読み取りながら、数値にとらわれない感性豊かな服作りが出来る技能を身につける。布目の重要性、ボディとパターンの関係、ドラフティングの仕方など、平面製図と比較しながらドレーピングの理解を深める。	2前後	30	-	△	○	○	○	○	○	○	
○	-		ソーイングⅡ	パタンナーやデザイナーの意図を汲み取り、縫製仕様書に従い、裁断した生地を素材特性や柄などに配慮しつつ、ミシン操作、アイロン作業、最終仕上げまで、各種部分縫いを交えながらより良い製品としての技術を習得する。薄物素材、ニット素材、厚地ウール、特殊素材などで製品を製作する。	2前後	285	-	△	△	○	○	○	○	○	
○	-	流通・販売	市場調査Ⅱ	ECをふくめた、ジャンルを問わず幅広いブランド、ショップ等を調査する事で、今の市場のニーズ、トレンドをとらえる。また、服飾デザインⅡ、ソーイングⅡ、パターンメイキングⅡと連動し、自身の制作物に設定されたブランドの競合ブランドのリサーチを行い、比較検討の材料、方向性決定の根拠の一つとする。	2前後	30	-	△	○	○	○	○	○	○	
合計					10 科目	単位時間：			1,080		時間				



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
指定された教室及び実習を通して、知識・技術を習得する。 前期試験（9月）、後期試験（進級試験）及び、各科目の提出物、出席で評価。	1学年の学期区分	前・後期
	1学年の授業期間	全42週
進級クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを23週とする。 卒業クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを22週とする。		

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。